

区分	チェック項目	現状評価(実績状況・工夫点)	保護者の評価	保護者の評価に沿った改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分な広さの教室を保有して、遊び場所としてのプレーリームも用意し、事業所2つ以上の活動スペースが確保できています。	はい 25 いいえ 1 どちらともいえない 2 わからない 3	改善点、改修が必要な箇所はありません。
	2 隊員の適切な配置	人員基準以上の職員配置を行い、ミーティング時には、管理者によるミニ研修を随時行うことで、職員の専門性の向上に取り組んでいます。	はい 19 いいえ 3 どちらともいえない 3 わからない 3	現状では、職員の増員は計画しておりません。
	3 本人に合わせて個別化・リリーフ化・情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	高齢者向け診療所を改装し、手すり付のトイレ等バリアフリーに対応しており、個別化にて部分文字表記が用意され、個別療育室も確保しています。	はい 25 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	現状で対応できていると寄せており、改修などの予定はありません。
	4 清潔・心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	経年劣化の感じられない清潔で広々とした空間を、今のごろ確保できています。	はい 19 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	教室は学びの場所、プレーリームは遊び場所と、役割による使い分けを継続しています。
業務改善	1 事業改善を進めるためのDCMスタイル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な取り組み	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅱ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。		引き続き、ムダ・ムームラの削減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は、まだ取り入れておません。		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。
	3 隊員の資質の向上を行うための研修機会の確保	送迎職員の研修のため、外部研修への職員派遣が難しいことに加え、コロナ禍による外部研修への参加自粛要請があり、事業所内での研修に留めました。		引き続き、オンライン研修の活用に努めたいと考えております。
適切な支援の提供・継続(支援の提供・継続)	1 フィードバックを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援というニーズを念頭に書き作成に取り組みました。		より効果的な学習支援に取り組むように、K-ABCⅡを得る予定があります。
	2 子どもが放課後にいつ、かつ定期的に団体活動を適応組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	「でらり」体験会をやってことで、学びの楽しさが見つけられること、自己肯定感を育むことを前提として作成しています。	はい 20 いいえ 1 どちらともいえない 2 わからない 2	事業運営の内容がマンネリにならないように、研修や書籍から、さらなるアイデアを得ていきたいと考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習支援と、他児との交流を中心作成しています。		数々の育み、ワーキングモモリ、ビジョントレーニングといった観点からも、児童毎の必要項目を設定できるようにしていきたい。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施しています。	はい 22 いいえ 2 どちらともいえない 1 わからない 1	現状を継続したいと思います。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	基本となる学習支援プログラム以外の集団療育については、選択わりで担当職員を販売、各自のアイデアで趣向を凝らした活動に取り組んでいます。		現状を継続したいと思います。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇には、ゲーム等を使って、児童同士の交流を促進するなど、平日には時間制約が実施できない活動で、社会性の向上を目指しています。	はい 21 いいえ 2 どちらともいえない 2 わからない 2	コミュニケーションの向上や、他者視点の育みが期待できる協力ゲームの実施などを図っていきたい。
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫の実施	メインとなる支援は、オンライン教材のからと、認知機能の発達を促す3種類のソリューションを用いています。集団療育については選択わり内容を販売、活動内容に工夫を凝らしています。		各児童の興味を育てたり、強みの発見につながるような工夫を凝らしていきたい。
	8 支援開始前ににおける職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	E-メーリングで実施しています。		現状を継続したいと思います。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	自宅送迎後の待機時間がまちまちなので、待機中に、管理者へ情報の共有を実施。必要に応じて、翌朝のミーティングで取り上げています。		現状を継続したいと思います。
	10 日々の支援に際しての正確な記録の徹底、支援の評証・改善の継続実施	児童発達支援システム「メイプル日誌Ⅱ」を使い、毎日、必要な入力項目への記入に努めています。		現状を継続したいと思います。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もやさしい専門の障害児相談支援事業所のサービス相談会への参加	半年ごとに行っています。		現状を継続したいと思います。
	2 (障害児ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	コロナ禍における、対外的な会議への参加自粛が課題であったため、過去1年は不参加。そのため、電話や相談員の訪問による情報共有に努めています。		コロナ禍の状況により、今後、対面での会議が再開されるようになれば、参加していきたい。
	3 (障害児ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 子どもの生活や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保健や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学校)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5 放課後等デイサービスの場合は放課後等デイサービス計画についての十分な情報提供	過去1年で該当者はいませんでした。		該当者がいれば、対応できるようにしていきたい。
	6 児童発達支援センターや児童発達支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の実施の実績	専門機関による研修への参加は、送迎職員の理由で実施できていません。		送迎職員の権限が貴重なため、対面での会議は困難であり、オンライン会議の機会を活かしたい。
	7 放課後等デイサービスの場合は放課後等デイサービス計画との交換や、放課後等デイサービスの場合は放課後等デイサービス計画との交換など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では、事業所外での対外的な交流はございません。	はい 3 いいえ 14 どちらともいえない 2 わからない 5	保護者の意見も重、不要が別れているようであり、実施に向けての今後の課題としたい。
	8 事業所の行への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	面倒を工数や店舗に面しまり、隣には一般家庭が集まつた、地域住民の招待を設定した企画を実施しております。		現状を奪えないと、地域住民の招待を想定した企画の実現は難しいと思われるので、現状通りにします。
	9 実験的内容、利用者負担等についての丁寧な説明	実験的については、主要事項説明書をもとに、1時間近くを用いて十分な説明を行っています。	はい 24 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	現状を継続したいと思います。
	10 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施しています。	はい 18 いいえ 2 どちらともいえない 3 わからない 1	現状を継続したいと思います。
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者からの応用力の向上を図る観点から、保護者に対するアペレントレーニング等の実施	保護者はアペレントレーニングの一部研修を受講して、書籍による学習を続けており、必要に応じて、動画を販売する体制を取っています。	はい 12 いいえ 4 どちらともいえない 4 わからない 5	必要な研修分析、ペアレントトレーニングについての研修を実施し、保護者からの要望に適切に沿えるようにしていきたいと思います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌」の連絡ノーメモ等を用いた情報交換と、送迎時に必ず対面での説明を行っています。	はい 23 いいえ 2 どちらともいえない 1 わからない 1	現状を継続したいと思います。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応必要な助言の実施	送迎時ににおける対応練習など、保護者からの要望に対応できる体制はできています。	はい 4 いいえ 13 どちらともいえない 6 わからない 2	現状を継続したいと思います。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者の会の開催による保護者同士の連携支援	現時点では、保護者会は開催していません。	はい 1 いいえ 16 どちらともいえない 4 わからない 3	保護者のニーズが多い様であれば、開催を検討したいと思います。
	7 子どもや保護者からの要望に対する対応体制整備や、子どもや保護者との面接や情報共有についての工夫	保護者会体制が整備されており、管理者がその面接などを行っています。 ご要望については、対応者からの面接により、運営や会員に努めています。	はい 1 いいえ 13 どちらともいえない 1 わからない 3	現状を継続したいと思います。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	スマートフォン等の連絡手段によるやり取り始め、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有をできるようにしております。	はい 24 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	自閉的傾向を有する児童に対する門のICQ(送信カード交換式コミュニケーションシステム)等の利用は検討したいと思います。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもの保護者への発信	現時点では、会報等の発行は行っておりません。 季次便による専用の面接室、特別行事等は実施しております。	はい 0 いいえ 1 どちらともいえない 4 わからない 3	保護者からの要望が多い様であれば、現在利用中のインスタグラムで、プライバシーに配慮したでの情報発信を検討したいと思います。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報は、契約時に説明したり取り扱っております。	はい 23 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	現状を継続したいと思います。
	11 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備された物があり、契約時にその説明を行っています。	はい 22 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 2	現状を継続したいと思います。
	12 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	アンケート回収時点では実施できませんでしたが、11月末に火災想定避難訓練を実施しました。	はい 9 いいえ 9 どちらともいえない 4 わからない 3	2022年度(4月～3月)より、春秋の年2回実施する予定です。
企画・評議の実施	3 走査を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	ミーティングで実施しています。		現状を継続したいと思います。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における規範的対応と、子どもや保護者との事前に十分に説明・了解を得たうでの児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の必要性に迫られる場面はなく、そしたら身が不利益を被る事はいません。 個別療育室や廊下での声掛けを中心としたマップマーマン対応を行っています。		現状を継続したいと思います。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示に基づく適切な対応	契約時に、各種アレルギーの有無を確認させて頂いております。		現状を継続したいと思います。
	6 ピヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ピヤリハットについては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌」内に、電子的に記録しています。		現状を継続したいと思います。